

8
9
30
1
2
3
4
5
6
7
8
9
40
1
2
3
4
5
6
7
8



嘉永四年

春新刻

是雷也

其傑譚

十七編

種員作

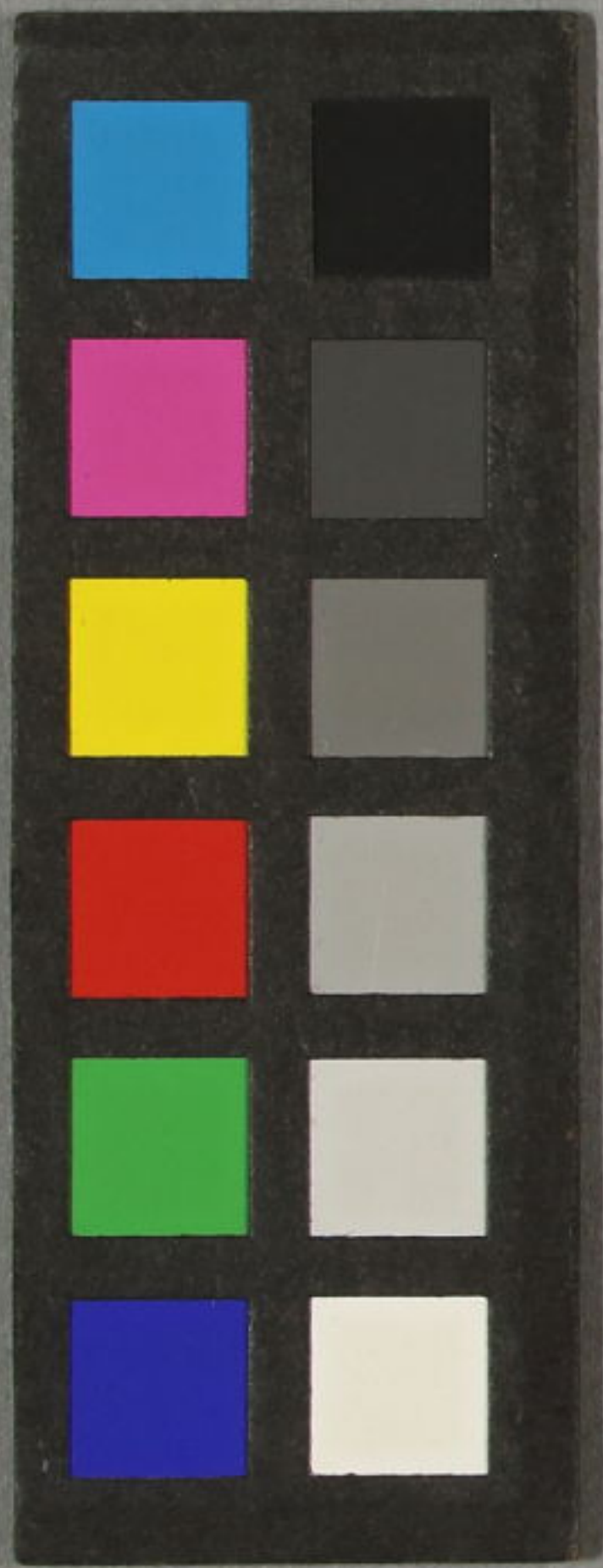
國輝画



甘泉堂梓

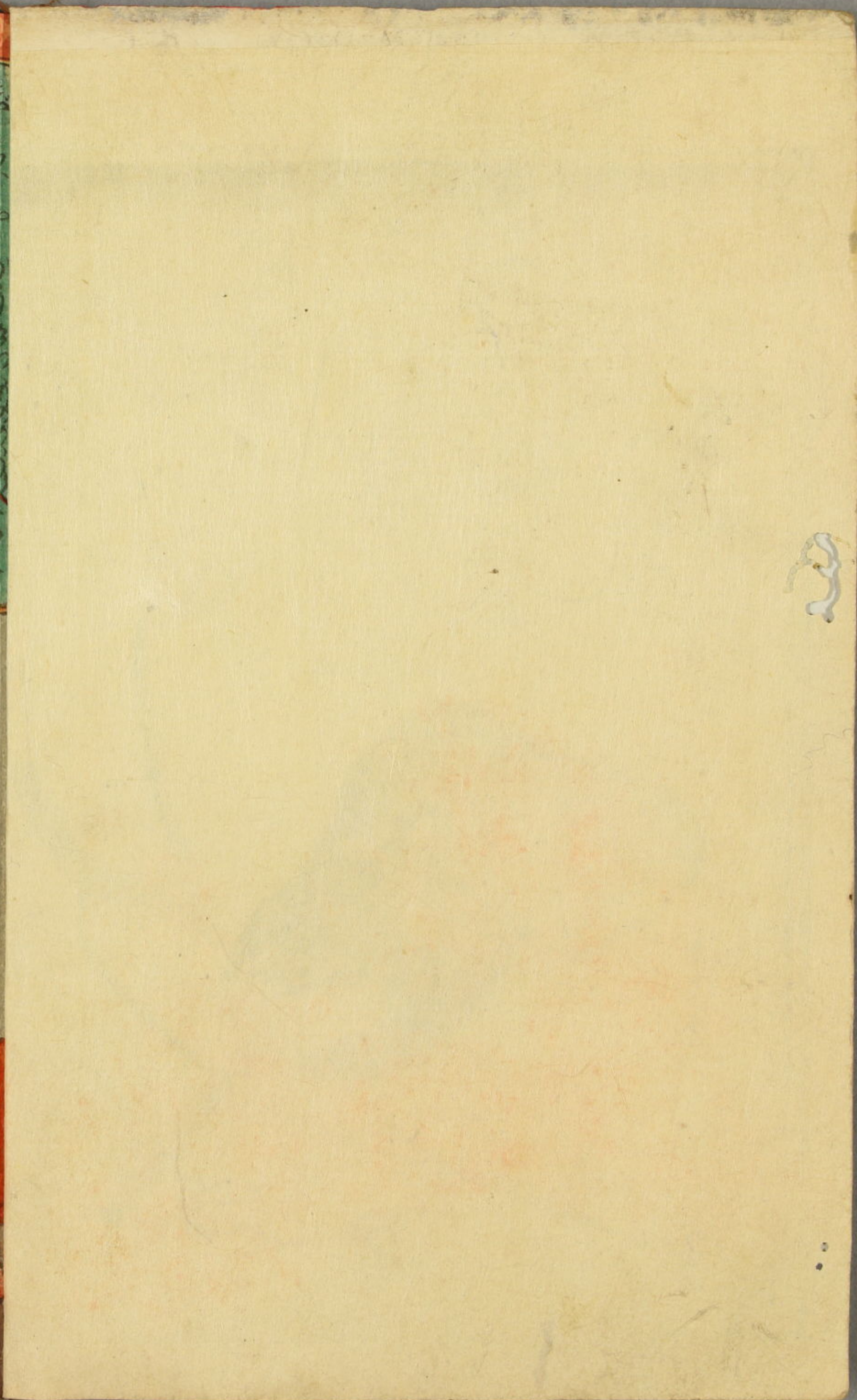


^13
3877
9

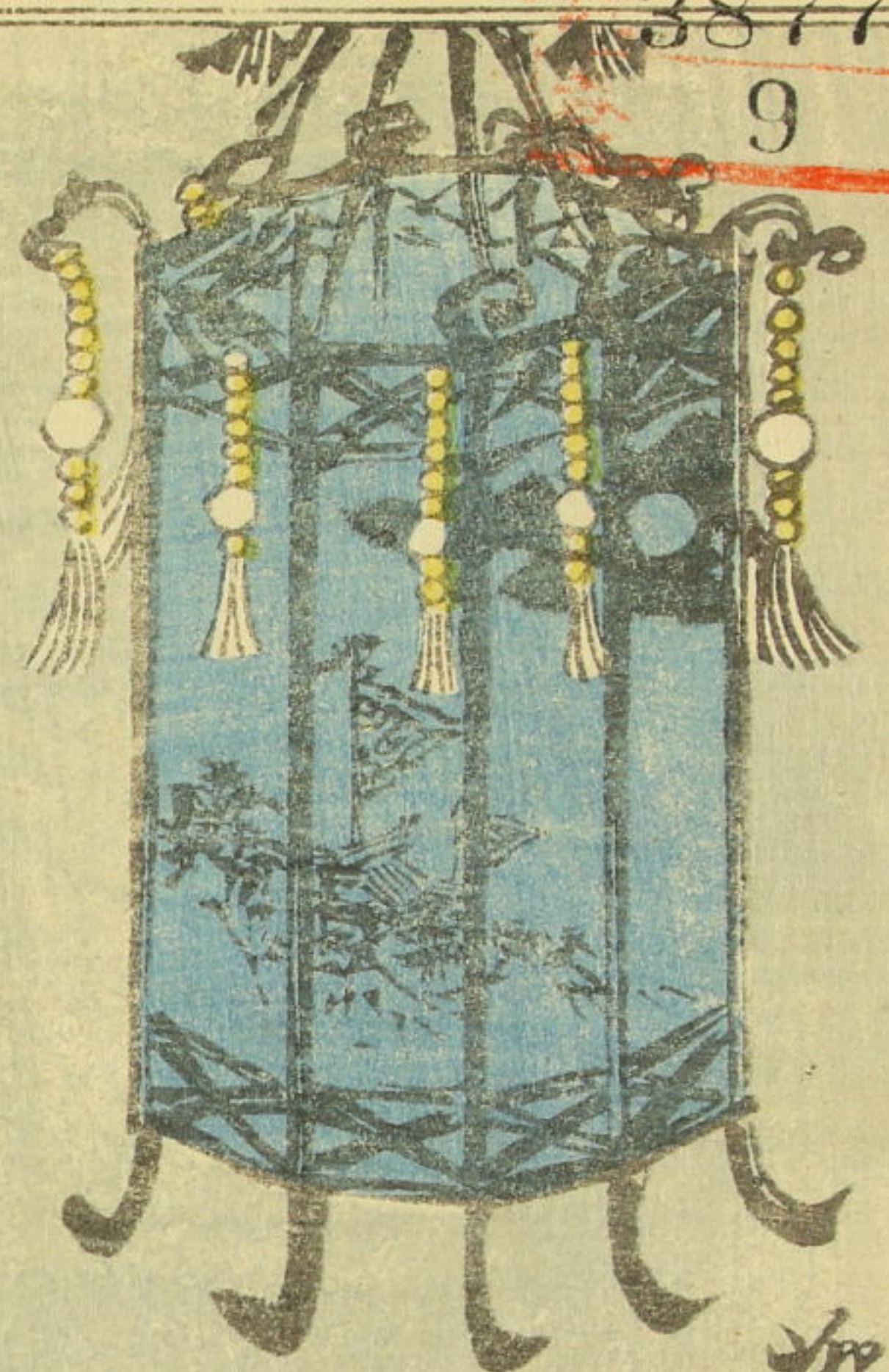




兒雷也豪傑譚
第十編
第七



門へ13
3877
9



柳下亭作

一雄齋画

嘉永四

年亥春

新刻

見豪傑
雷也
譚
十七編
上冊

七泉堂



一

水滸傳の宋江等が一度兗徒の名を得る本善不帰るの後ハ朝家の為小命と
 抛ち賊軍と平んとする故小評して初善中惡後忠の名云わり此兒雷也も亦
 然以前の巻中ハ非道野業屢る名れも心正路不反してより仁と施し義守奇
 術を起し大願主の意ハ不知僕察其條ハ趣ハ中頃僅ハ終編せし
 筆庵が無方小口画へ拳一人名もろ爰ハ不慮作補と成て小説も最
 生讀の甲斐國なる浦軍士退治大蛇丸の誅罰ハ所謂田虎方臘攻杯や
 物ハ比々巻を追う長譯ハ甘泉堂ハ幸身分も彼及時雨ハ湖上吹煙
 せる花燈ハ等々此書名の江湖ハ明く聞る功実梁山の簾ハ流る美圖
 垣大人ハ一世の答言なり

嘉永四辛卯陽春發兌

柳下亭種員識

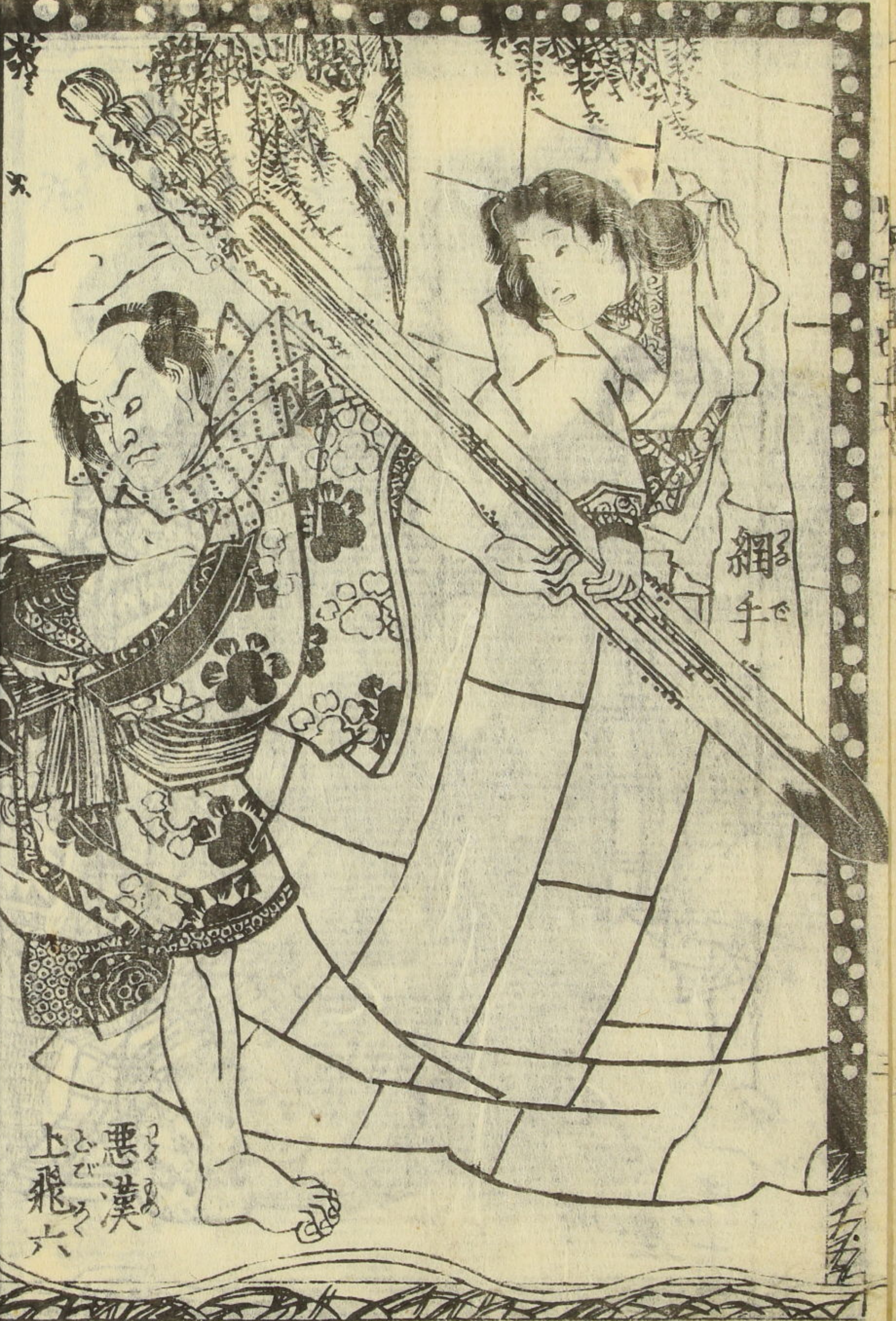








於花



細手

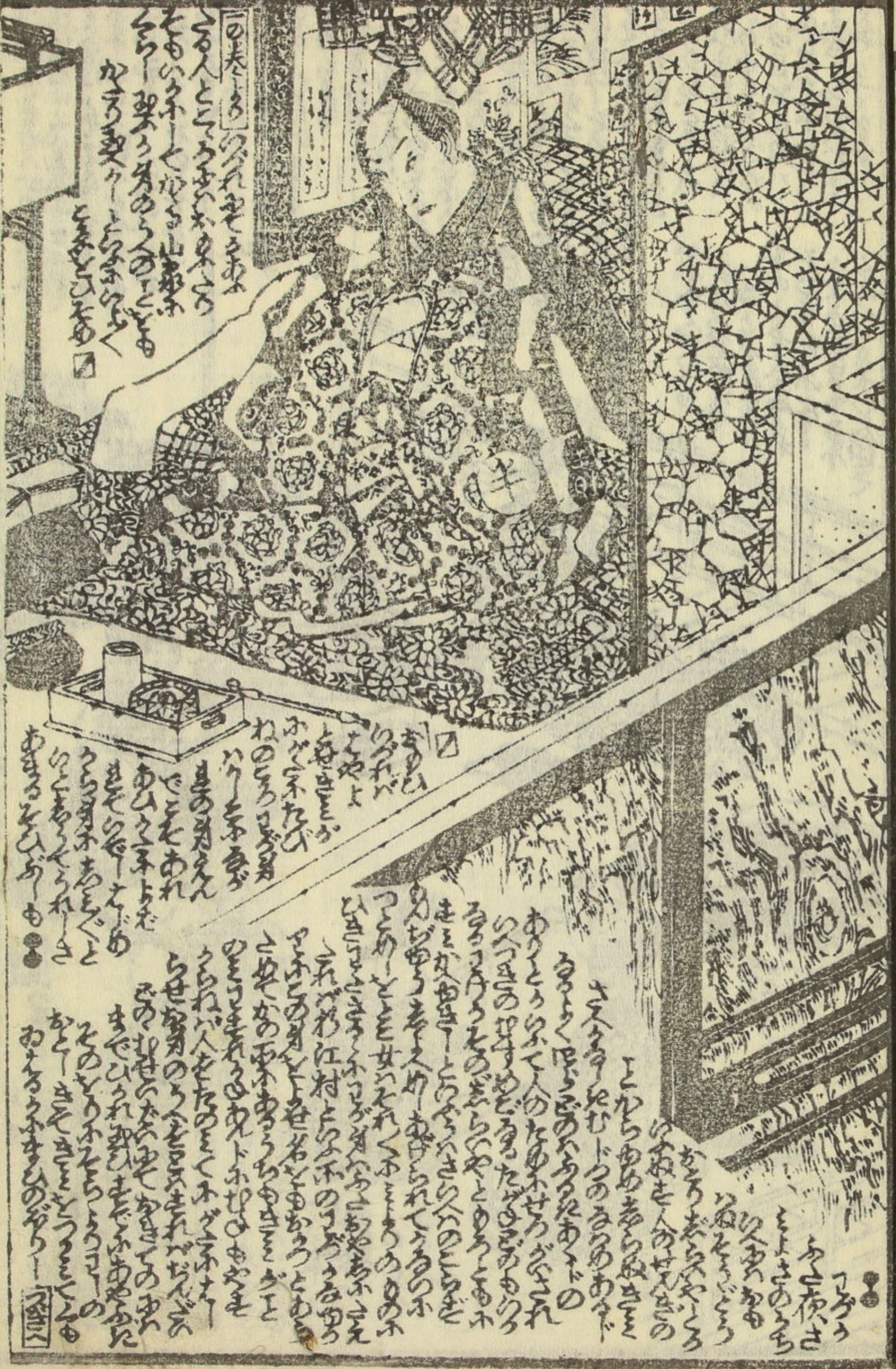
悪漢
上飛六



△
わがわが
とてあはれ
たひこは
さかひのと
あまをいつ
あまをいつ
ひまをいつ
ひまをいつ
ひまをいつ
ひまをいつ

△
わがわが
とてあはれ
たひこは
さかひのと
あまをいつ
あまをいつ
ひまをいつ
ひまをいつ
ひまをいつ
ひまをいつ

△
わがわが
とてあはれ
たひこは
さかひのと
あまをいつ
あまをいつ
ひまをいつ
ひまをいつ
ひまをいつ
ひまをいつ



△
わがわが
とてあはれ
たひこは
さかひのと
あまをいつ
あまをいつ
ひまをいつ
ひまをいつ
ひまをいつ
ひまをいつ

△
わがわが
とてあはれ
たひこは
さかひのと
あまをいつ
あまをいつ
ひまをいつ
ひまをいつ
ひまをいつ
ひまをいつ

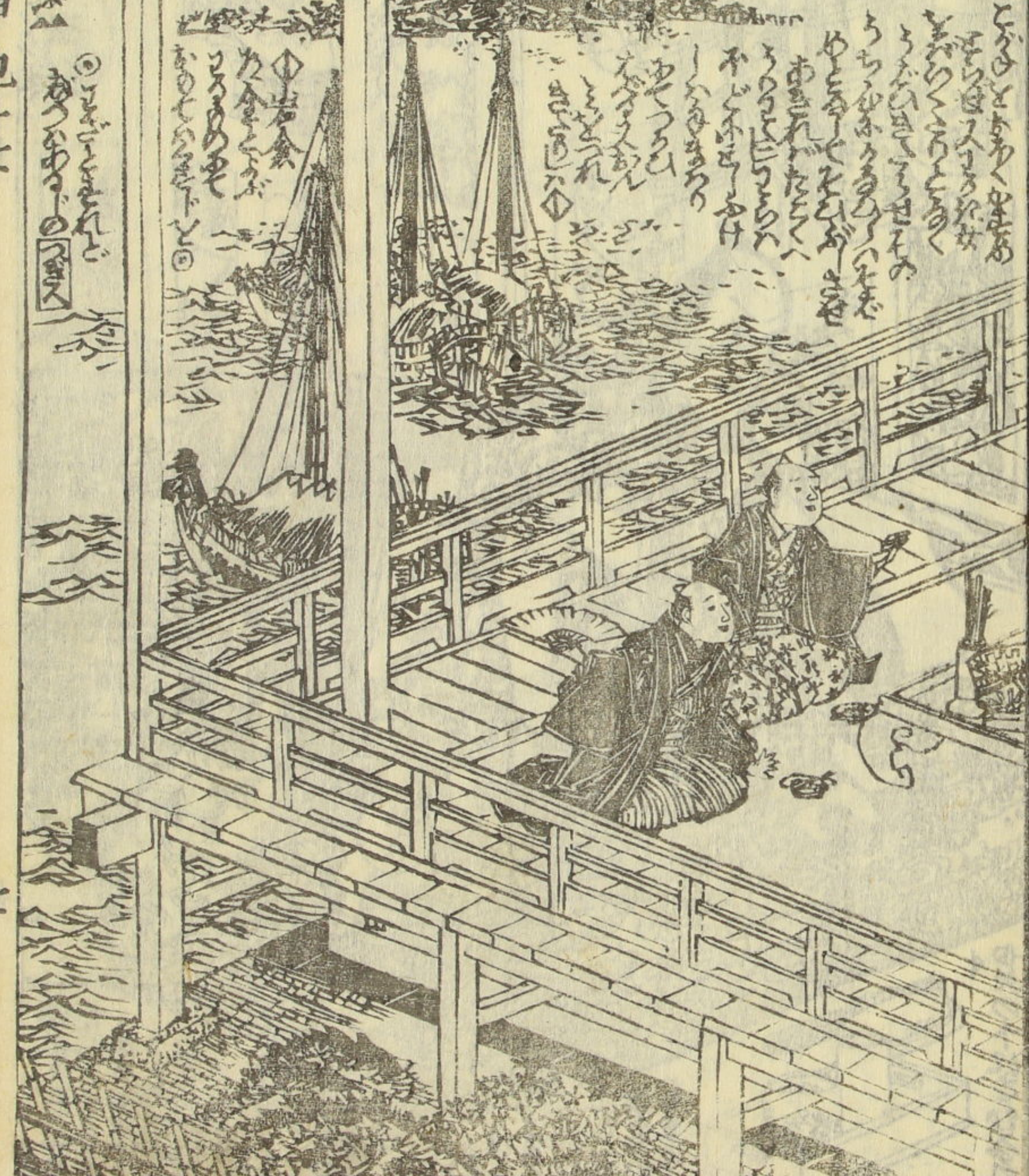
此の山は... 月日は... 世は...

あつちの... 山は... 月日は... 世は...



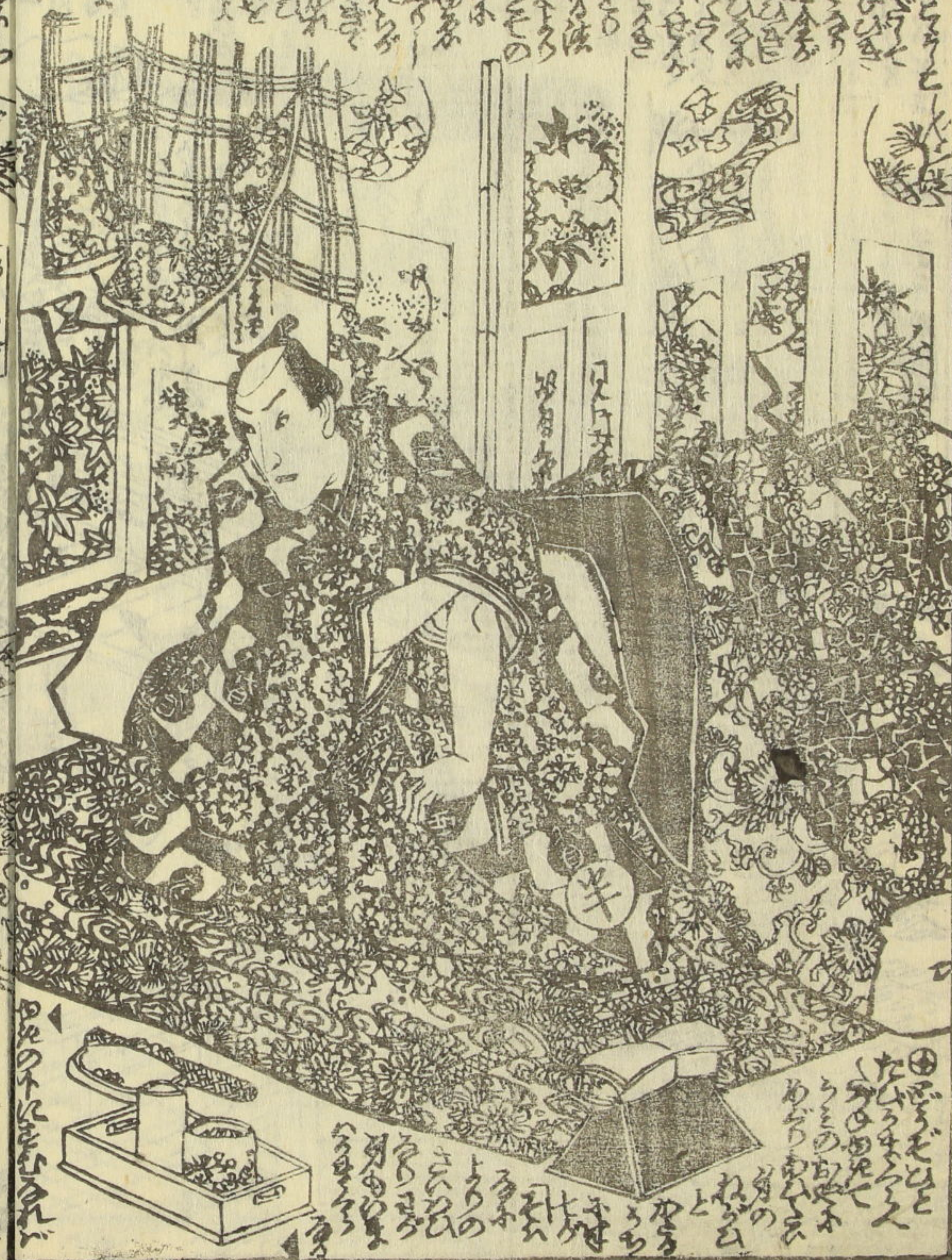
此の山は... 富貴太郎... 色里... 初め... 三四丁目と合せて...

あつちの... 山は... 月日は... 世は...



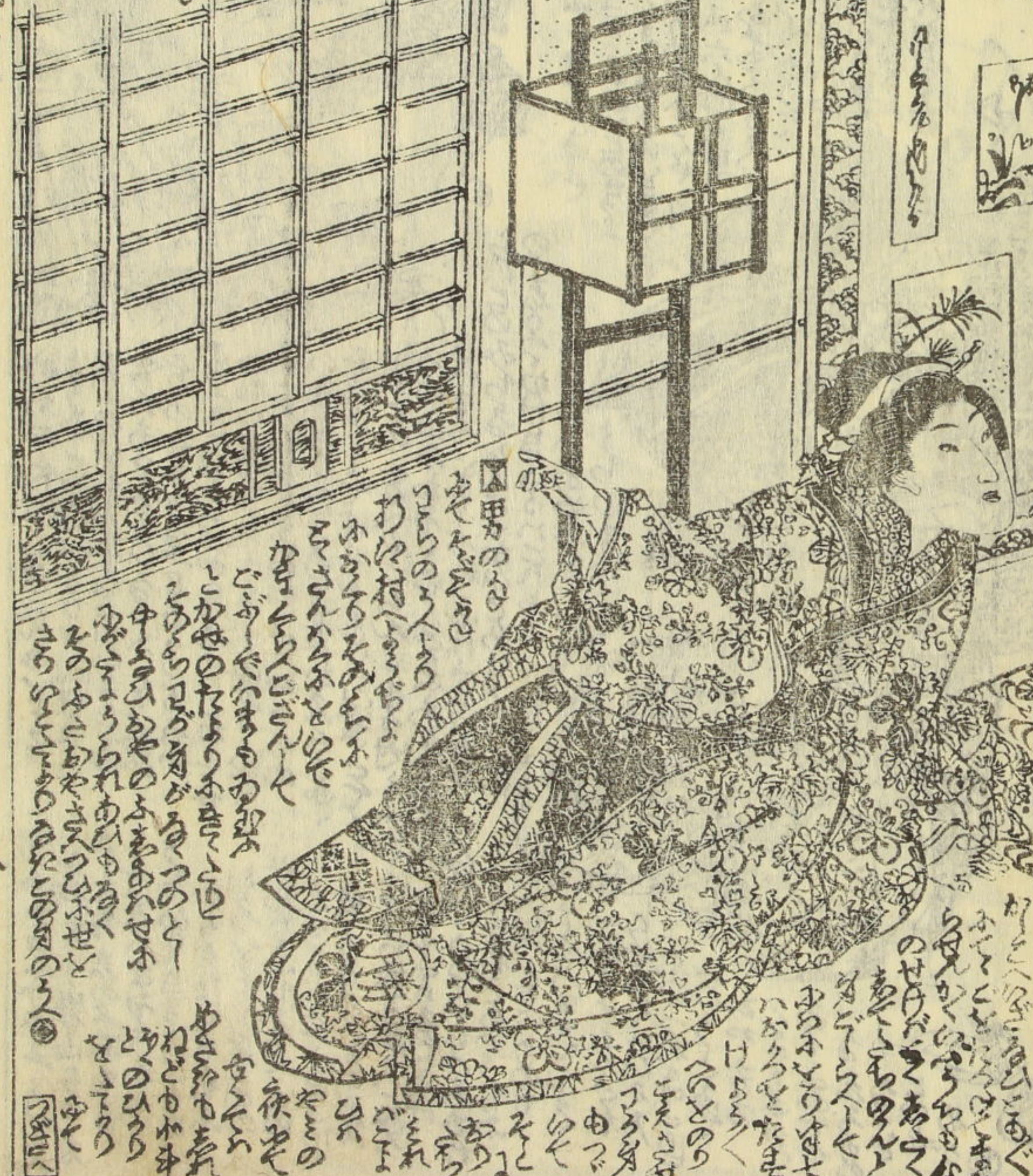
あつちの... 山は... 月日は... 世は...

かきくらすはくせん
 九段のついでにさうじ
 せいふんをさすてん
 とのさうじをせん
 ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん



ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん

かきくらすはくせん
 九段のついでにさうじ
 せいふんをさすてん
 とのさうじをせん
 ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん



ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん
 ちのさうじをせん

己酉年十一月



Vertical columns of Chinese text on the left page, likely a commentary or a poem related to the illustration. The text is written in a traditional style, with some characters appearing to be in seal script or a similar historical form.



Vertical columns of Chinese text on the right page, continuing the commentary or poem from the left page. The text is written in a traditional style, with some characters appearing to be in seal script or a similar historical form.

種員作國輝画



一、初編の二休草紙の考案者として、
 此和正流の考案者として、
 二、初編の二休草紙の考案者として、
 三、初編の二休草紙の考案者として、
 四、初編の二休草紙の考案者として、
 五、初編の二休草紙の考案者として、
 六、初編の二休草紙の考案者として、
 七、初編の二休草紙の考案者として、
 八、初編の二休草紙の考案者として、
 九、初編の二休草紙の考案者として、
 十、初編の二休草紙の考案者として、

一、初編の二休草紙の考案者として、
 二、初編の二休草紙の考案者として、
 三、初編の二休草紙の考案者として、
 四、初編の二休草紙の考案者として、
 五、初編の二休草紙の考案者として、
 六、初編の二休草紙の考案者として、
 七、初編の二休草紙の考案者として、
 八、初編の二休草紙の考案者として、
 九、初編の二休草紙の考案者として、
 十、初編の二休草紙の考案者として、

一、初編の二休草紙の考案者として、
 二、初編の二休草紙の考案者として、
 三、初編の二休草紙の考案者として、
 四、初編の二休草紙の考案者として、
 五、初編の二休草紙の考案者として、
 六、初編の二休草紙の考案者として、
 七、初編の二休草紙の考案者として、
 八、初編の二休草紙の考案者として、
 九、初編の二休草紙の考案者として、
 十、初編の二休草紙の考案者として、

假名一休草紙 柳下亭種員作 一雄齋國輝画

初編より五編を當りて
各編遺出扱仕

嘉永五年壬子新春新彫

初編の二休草紙の考案者として、
 二、初編の二休草紙の考案者として、
 三、初編の二休草紙の考案者として、
 四、初編の二休草紙の考案者として、
 五、初編の二休草紙の考案者として、
 六、初編の二休草紙の考案者として、
 七、初編の二休草紙の考案者として、
 八、初編の二休草紙の考案者として、
 九、初編の二休草紙の考案者として、
 十、初編の二休草紙の考案者として、

開版所 司馬神明前 甘泉堂 和泉屋市兵衛



柳下亭作

一雄齋画

仆題曲多同查



此の巻は...
 一、...
 二、...
 三、...



此の巻は...
 一、...
 二、...
 三、...

あさひ

柳下亭

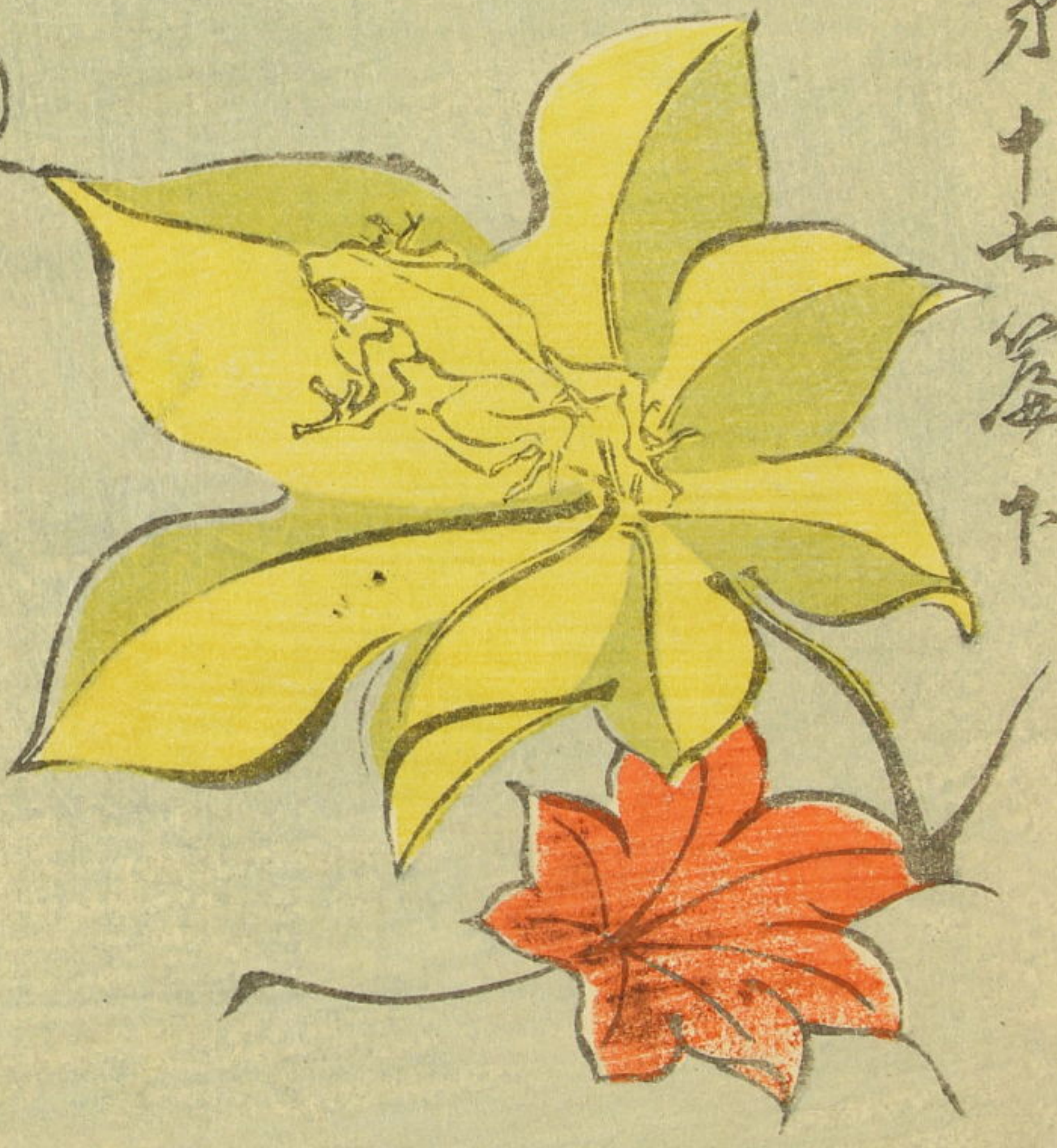
言五傑

一燈多座

えの

いん

第十七篇下



甘泉亭

ついでにやうと云ふついでにやうのあからしきうら
るまじらにやうみせのあからしきうら
ひまかりまゝのまゝのまゝ
くちやうのまゝ
くちやうのまゝ

たえんがう
のこじよひま
るたうの小ぢ
鬼のまじら
九のまじら
小同



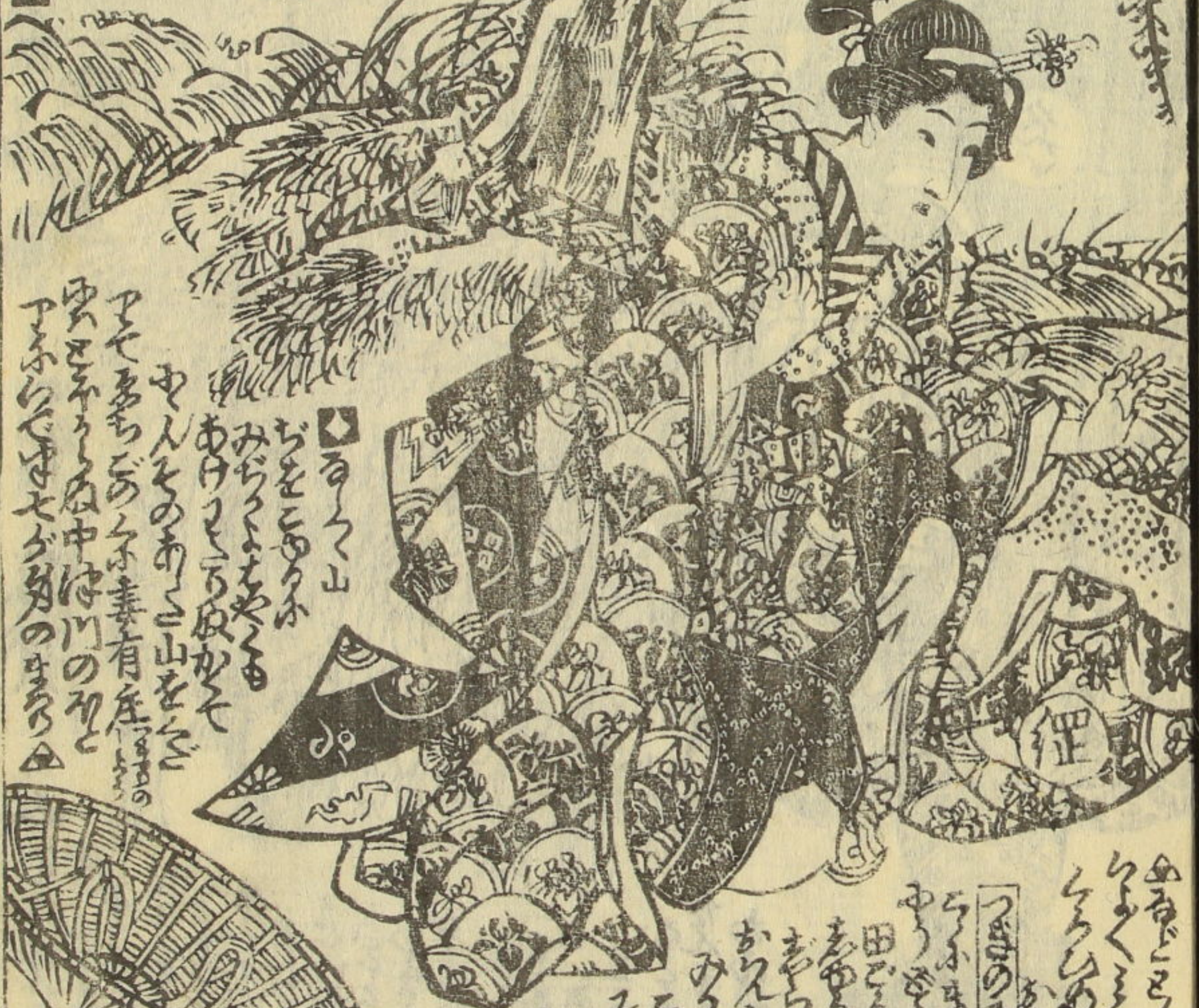
ひまかりまゝのまゝのまゝ
くちやうのまゝ
くちやうのまゝ
くちやうのまゝ
くちやうのまゝ
くちやうのまゝ
くちやうのまゝ
くちやうのまゝ

くちやうのまゝ
くちやうのまゝ
くちやうのまゝ
くちやうのまゝ
くちやうのまゝ
くちやうのまゝ
くちやうのまゝ
くちやうのまゝ



ついでにやうと云ふついでにやうのあからしきうら
るまじらにやうみせのあからしきうら
ひまかりまゝのまゝのまゝ
くちやうのまゝ
くちやうのまゝ

三の美より せんけのつてをたひ
 又一あるやうくわくわくのま
 とむらふてのまをくまへまへ
 つらゆのれりりくまへ山
 さんさゆのれりりくまへ山
 ままゆのれりりくまへ山
 とつれいさまのは七よきやう



四の美より せんけのつてをたひ
 又一あるやうくわくわくのま
 とむらふてのまをくまへまへ
 つらゆのれりりくまへ山
 さんさゆのれりりくまへ山
 ままゆのれりりくまへ山
 とつれいさまのは七よきやう

五の美より せんけのつてをたひ
 又一あるやうくわくわくのま
 とむらふてのまをくまへまへ
 つらゆのれりりくまへ山
 さんさゆのれりりくまへ山
 ままゆのれりりくまへ山
 とつれいさまのは七よきやう



六の美より せんけのつてをたひ
 又一あるやうくわくわくのま
 とむらふてのまをくまへまへ
 つらゆのれりりくまへ山
 さんさゆのれりりくまへ山
 ままゆのれりりくまへ山
 とつれいさまのは七よきやう



七の美より せんけのつてをたひ
 又一あるやうくわくわくのま
 とむらふてのまをくまへまへ
 つらゆのれりりくまへ山
 さんさゆのれりりくまへ山
 ままゆのれりりくまへ山
 とつれいさまのは七よきやう

十五

十五

ついでにのらひとせし
ゆふとふれし山を
くろふらふらひて
よもぢちとせし
ついでにのらひとせし

ゆふとふれし山を
くろふらふらひて
よもぢちとせし
ついでにのらひとせし
ゆふとふれし山を
くろふらふらひて
よもぢちとせし
ついでにのらひとせし



田代よりゆりて
日ゆりてふれぢあり
とまかくまをうけし
ゆふとふれし山を
くろふらふらひて

ついでにのらひとせし
ゆふとふれし山を
くろふらふらひて
よもぢちとせし
ついでにのらひとせし

ゆふとふれし山を
くろふらふらひて
よもぢちとせし
ついでにのらひとせし
ゆふとふれし山を
くろふらふらひて
よもぢちとせし
ついでにのらひとせし



ゆふとふれし山を
くろふらふらひて
よもぢちとせし
ついでにのらひとせし

ゆふとふれし山を
くろふらふらひて
よもぢちとせし
ついでにのらひとせし

ゆふとふれし山を
くろふらふらひて
よもぢちとせし
ついでにのらひとせし

嘉永五年壬子歲孟陬發市標目

新編金瓶梅全輯

自初編至十編 大尾一陽齋豐國画

兒雷也

柳下亭種員作

女郎花五色石臺五編 上帙 下帙

豪傑譚

自二十八編至二十八編

祥瑞白菊物語

三四五篇

柳下亭種員作

今業平昔面影

四五六篇

雄齋國輝画

錦朝樓芳虎画

書肆甘泉堂

芝神明前和泉屋市兵衛版



此不摸出る二人の
漢師ハ十八編
目の趣向
看官小ま
せんと
見ざる

種員作
清書金川



上



嘉永壬子新彫

漁舟火影冷
曉波驛路餘
靜夜過山

志
物

先

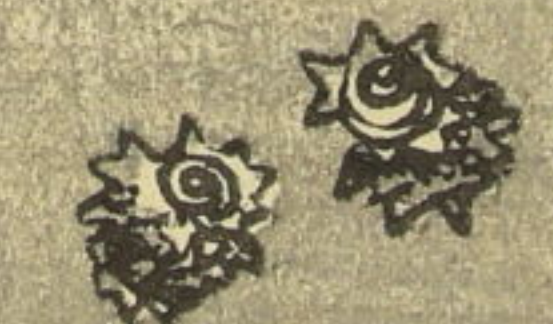
十八編

上冊

多
新画



甘泉
壽梓



忠臣藏九段目小加古川本藏云曰... 遊藝が役小三日内... 于
仕年の頃東海道と過る薩無崎小憩... 此地也後背の我...
富士峯前西面洋々... 駿河灘東小伊豆の岳... 遠く西の清見の
梵刹近... 加之田子呼坂古奴見濱袖志々浦三穂崎等當國小
名々... 名所の眼下の絶景小々且建武の古戰場より... 地方と
稗史の條小々... 思ひ... 閑小年歴と経つ
昨年此書の十七編小彼兒雷也... 薩無山の一段と不圖説費當年又
十八十九の編小速々常言小百聞の一見小不若と致聊小毛錐の掬
やまも若年時分の遊行が役小々... 長譚三編且小綴な
書房の催促と塞小々あり

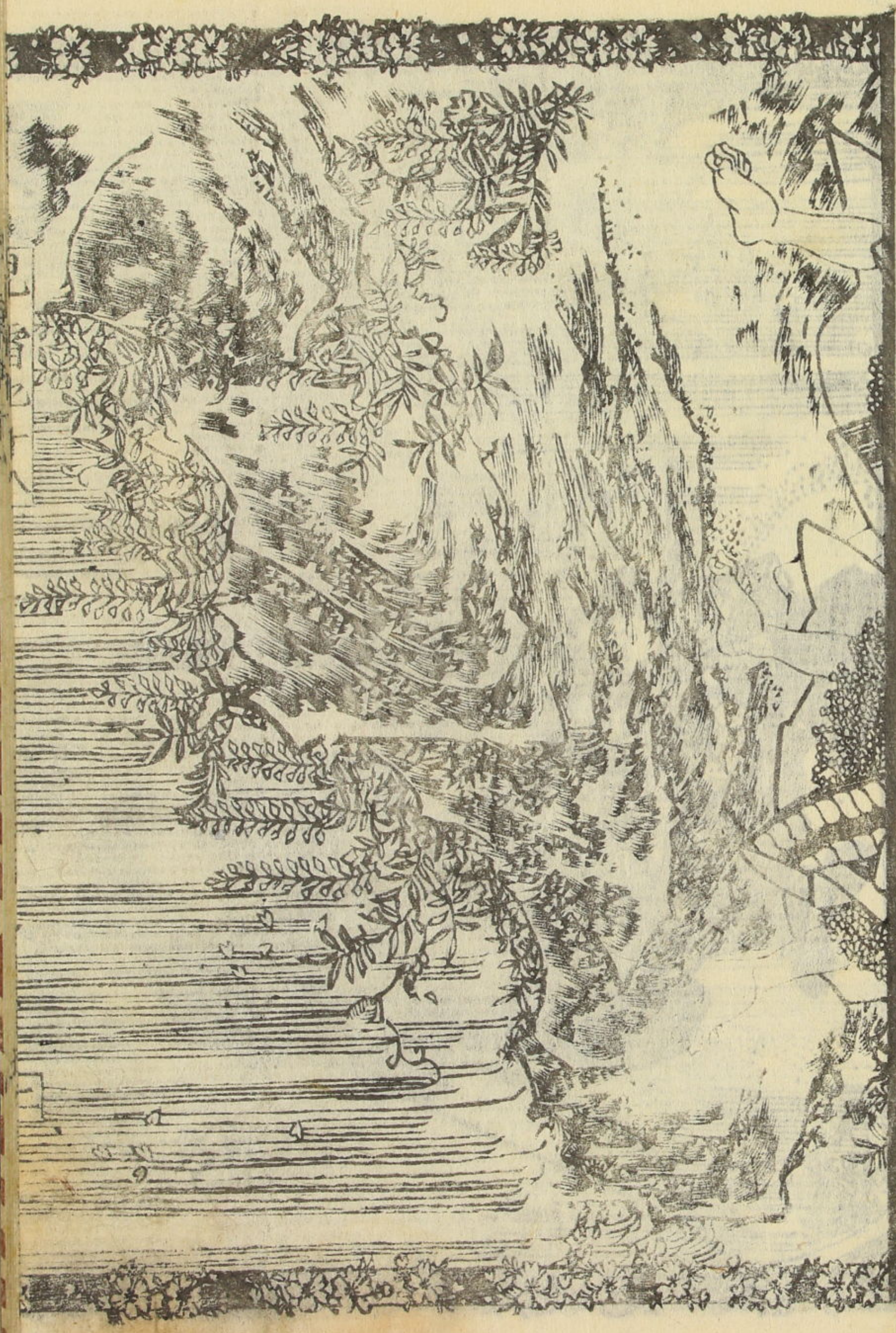
嘉永壬子孟版

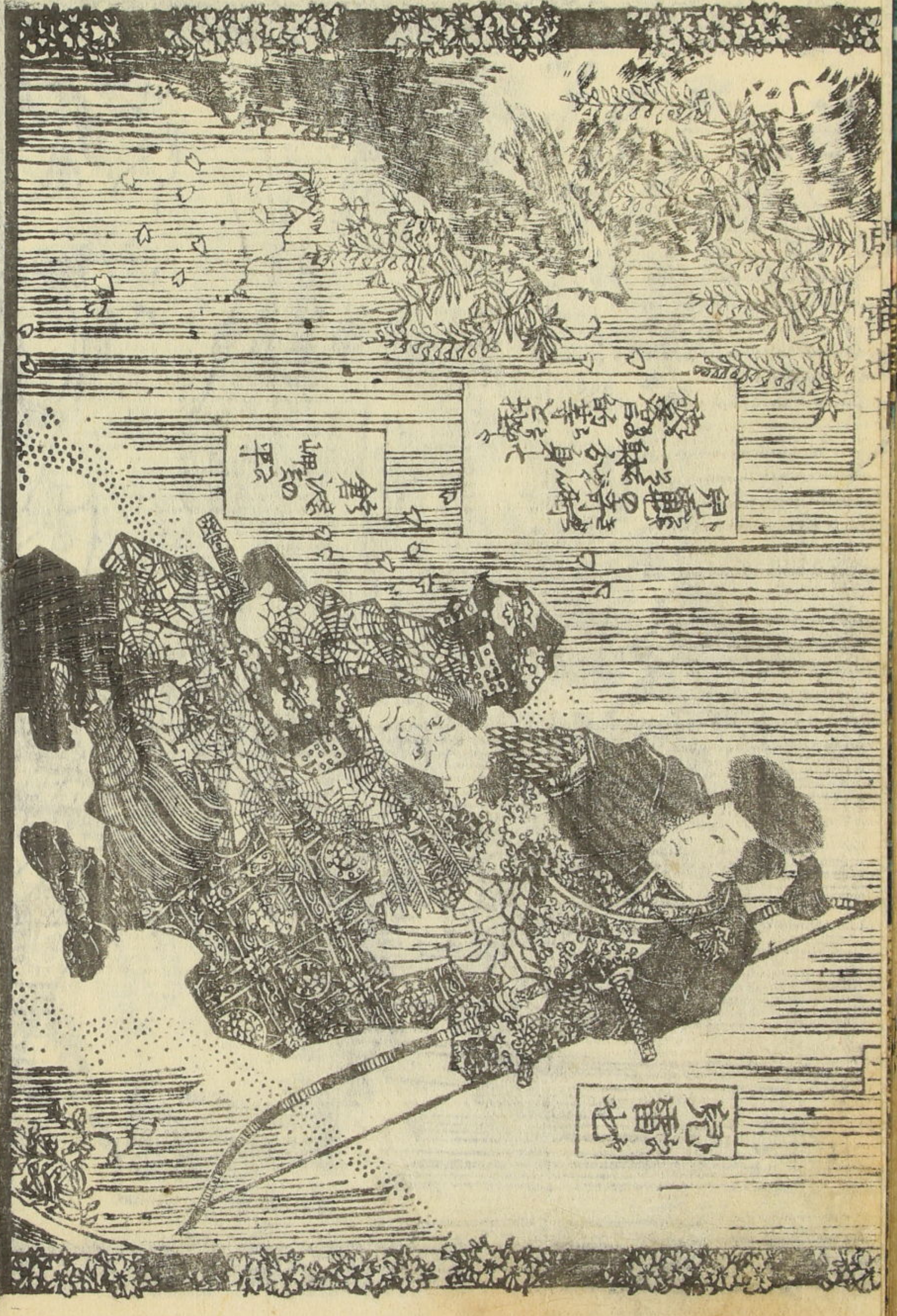
柳下亭種員識

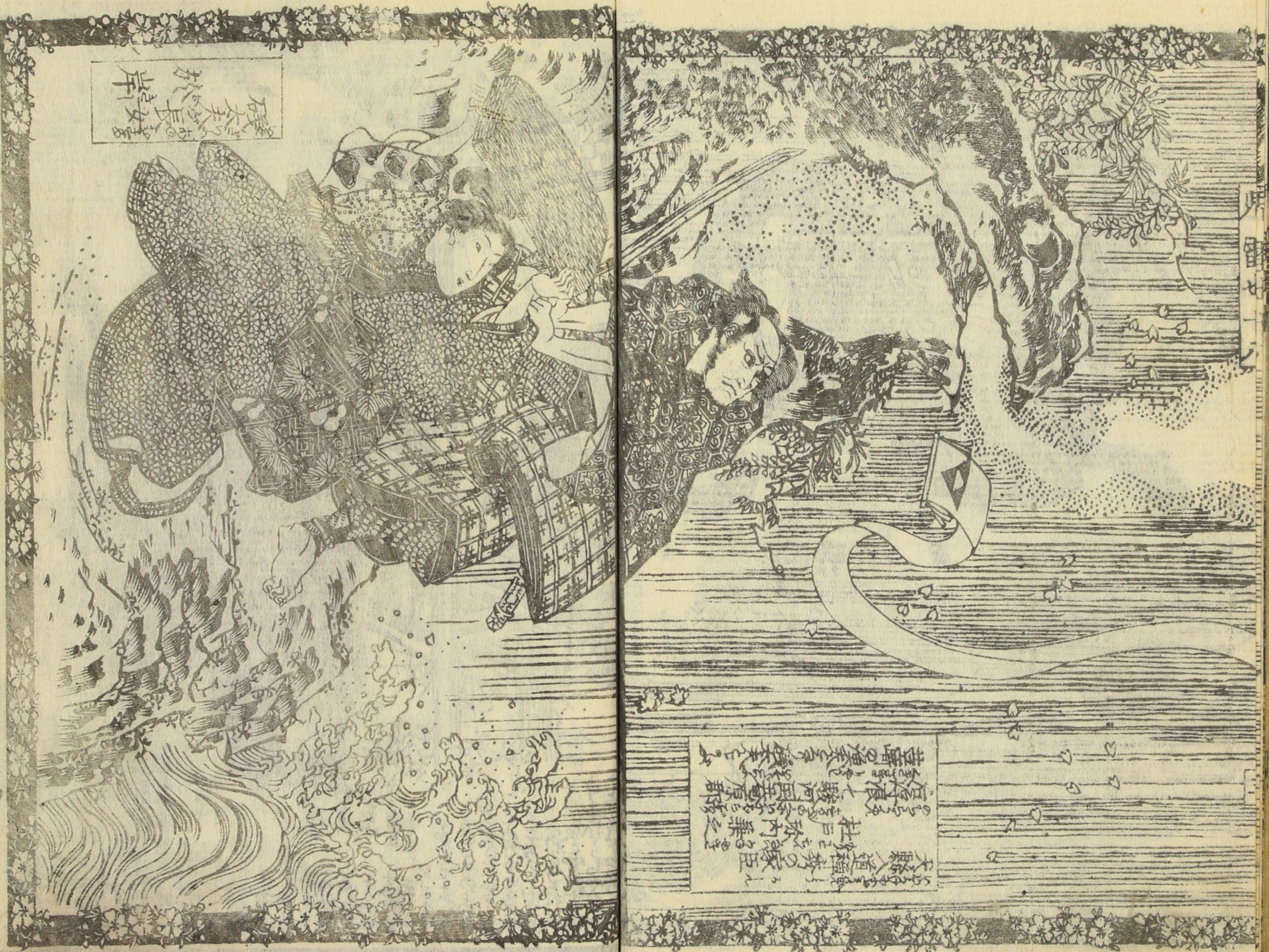


磯本太夫
田子作

肥後守
正寺山の城主
尾形左門の遺孀甚昌臣
西上軍の次男幼名良吾
后磯本太夫の事



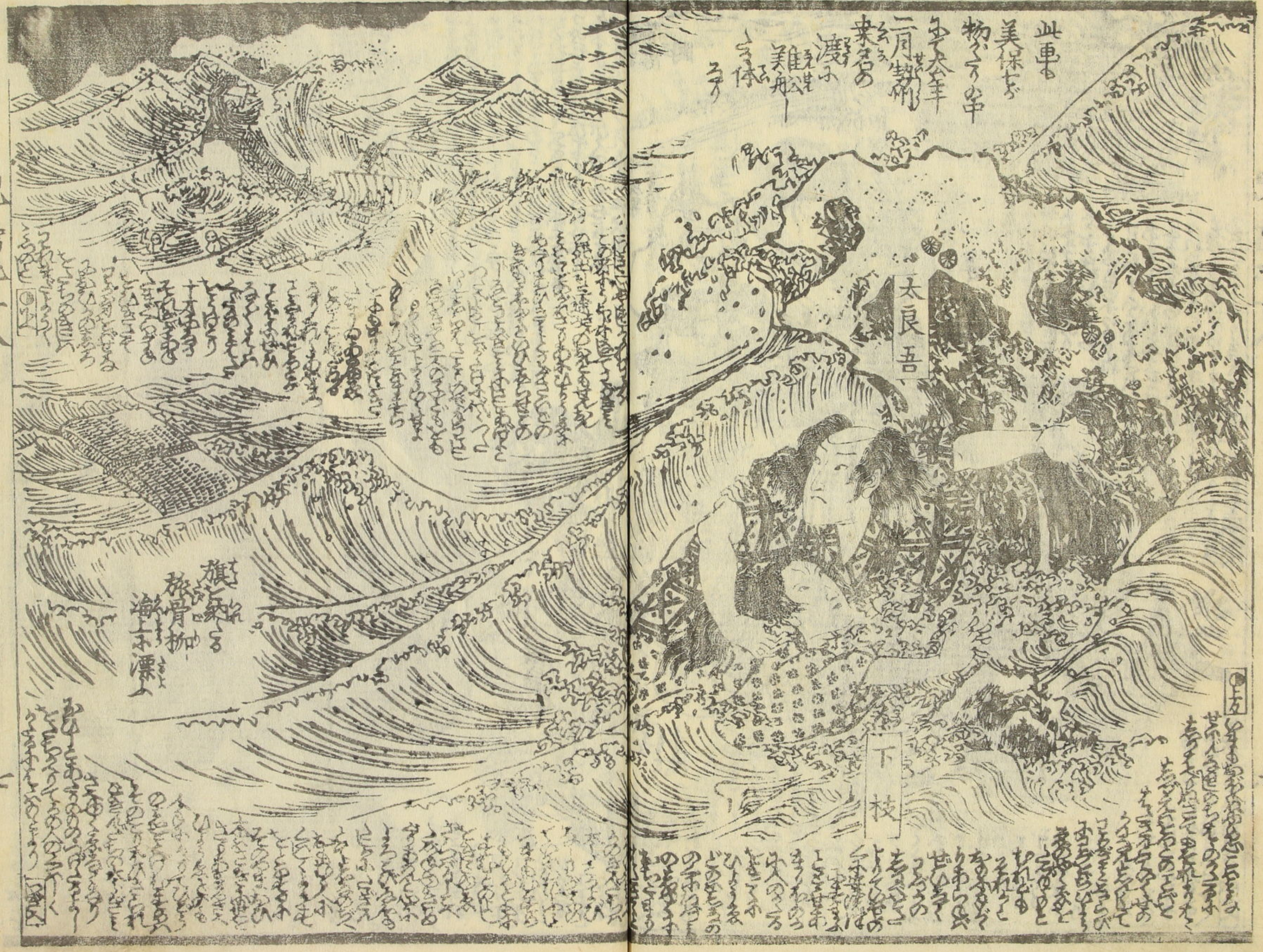




大縣入道種實の家臣
 杜戸内兼之
 信守浪上駿河國土原郡
 善壽の遺棄之者

磯夫の長女
 於岸

兒雷也十八



此車
美保
物
多
二月
来
美
美
美

太良吾

下枝

旗
旅
海
骨
柳
漂

見
番
也
十
八

Vertical text columns on the left page, including the characters '見番也十八'.

Vertical text columns at the bottom of the left page.

Vertical text columns at the bottom of the right page.



山は雲に隠れ
霧は谷を覆ふ
松竹は風に揺る
鳥は空を渡る
水は石を流す
月夜は静かな
花は春を告ぐ
秋の葉は赤く
雪は冬を告ぐ
春の鳥は鳴く
夏は暑い日
秋は涼しい
冬は寒い
一年の四季
自然の恵み
人生の道
徳の教訓
賢者の言
愚者の言
善人の行
悪人の行
因果の理
運命の定
神の御心
佛の教え
儒の道徳
墨の兼愛
法家の法
兵家の謀
農家の勤
工家の巧
商家の信
士家の節
将家の勇
文士の才
武士の力
百姓の誠
士族の徳
貴族の威
平民の力
庶民の徳
君子の行
小人の行
賢者の言
愚者の言
善人の行
悪人の行
因果の理
運命の定
神の御心
佛の教え
儒の道徳
墨の兼愛
法家の法
兵家の謀
農家の勤
工家の巧
商家の信
士家の節
将家の勇
文士の才
武士の力
百姓の誠
士族の徳
貴族の威
平民の力
庶民の徳
君子の行
小人の行

山は雲に隠れ
霧は谷を覆ふ
松竹は風に揺る
鳥は空を渡る
水は石を流す
月夜は静かな
花は春を告ぐ
秋の葉は赤く
雪は冬を告ぐ
春の鳥は鳴く
夏は暑い日
秋は涼しい
冬は寒い
一年の四季
自然の恵み
人生の道
徳の教訓
賢者の言
愚者の言
善人の行
悪人の行
因果の理
運命の定
神の御心
佛の教え
儒の道徳
墨の兼愛
法家の法
兵家の謀
農家の勤
工家の巧
商家の信
士家の節
将家の勇
文士の才
武士の力
百姓の誠
士族の徳
貴族の威
平民の力
庶民の徳
君子の行
小人の行

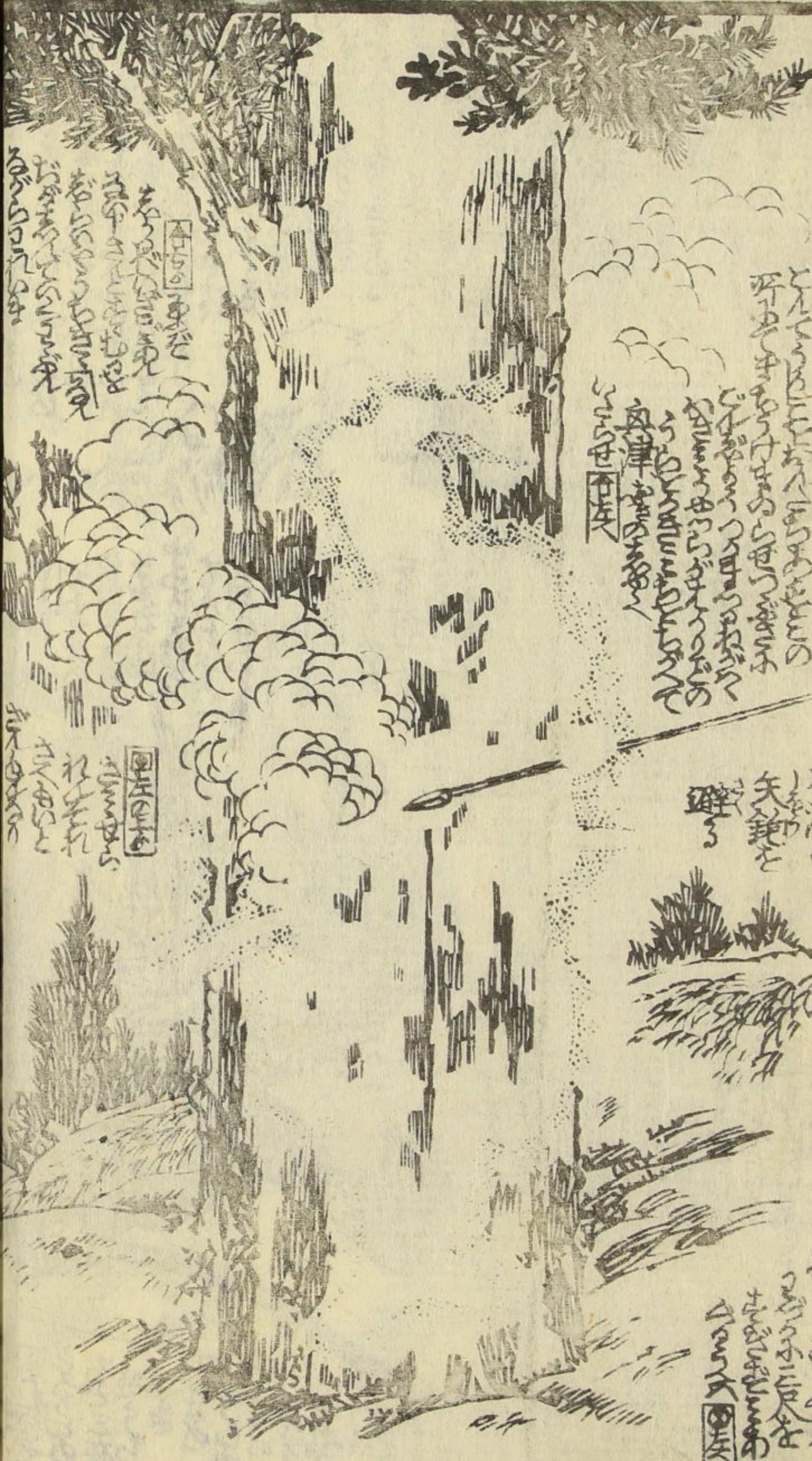
山は雲に隠れ
霧は谷を覆ふ
松竹は風に揺る
鳥は空を渡る
水は石を流す
月夜は静かな
花は春を告ぐ
秋の葉は赤く
雪は冬を告ぐ
春の鳥は鳴く
夏は暑い日
秋は涼しい
冬は寒い
一年の四季
自然の恵み
人生の道
徳の教訓
賢者の言
愚者の言
善人の行
悪人の行
因果の理
運命の定
神の御心
佛の教え
儒の道徳
墨の兼愛
法家の法
兵家の謀
農家の勤
工家の巧
商家の信
士家の節
将家の勇
文士の才
武士の力
百姓の誠
士族の徳
貴族の威
平民の力
庶民の徳
君子の行
小人の行

山は雲に隠れ
霧は谷を覆ふ
松竹は風に揺る
鳥は空を渡る
水は石を流す
月夜は静かな
花は春を告ぐ
秋の葉は赤く
雪は冬を告ぐ
春の鳥は鳴く
夏は暑い日
秋は涼しい
冬は寒い
一年の四季
自然の恵み
人生の道
徳の教訓
賢者の言
愚者の言
善人の行
悪人の行
因果の理
運命の定
神の御心
佛の教え
儒の道徳
墨の兼愛
法家の法
兵家の謀
農家の勤
工家の巧
商家の信
士家の節
将家の勇
文士の才
武士の力
百姓の誠
士族の徳
貴族の威
平民の力
庶民の徳
君子の行
小人の行

山は雲に隠れ
霧は谷を覆ふ
松竹は風に揺る
鳥は空を渡る
水は石を流す
月夜は静かな
花は春を告ぐ
秋の葉は赤く
雪は冬を告ぐ
春の鳥は鳴く
夏は暑い日
秋は涼しい
冬は寒い
一年の四季
自然の恵み
人生の道
徳の教訓
賢者の言
愚者の言
善人の行
悪人の行
因果の理
運命の定
神の御心
佛の教え
儒の道徳
墨の兼愛
法家の法
兵家の謀
農家の勤
工家の巧
商家の信
士家の節
将家の勇
文士の才
武士の力
百姓の誠
士族の徳
貴族の威
平民の力
庶民の徳
君子の行
小人の行

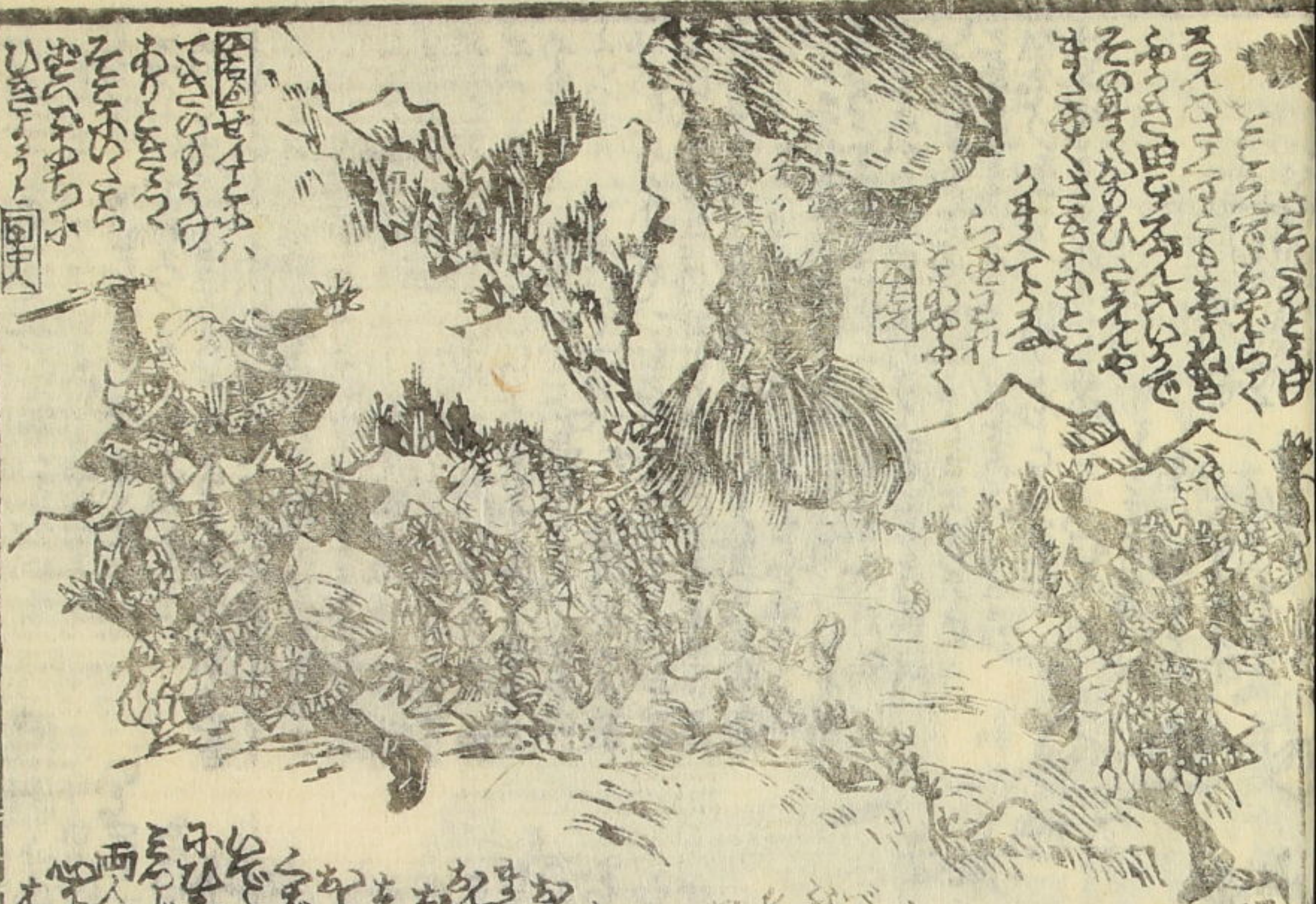
山は雲に隠れ
霧は谷を覆ふ
松竹は風に揺る
鳥は空を渡る
水は石を流す
月夜は静かな
花は春を告ぐ
秋の葉は赤く
雪は冬を告ぐ
春の鳥は鳴く
夏は暑い日
秋は涼しい
冬は寒い
一年の四季
自然の恵み
人生の道
徳の教訓
賢者の言
愚者の言
善人の行
悪人の行
因果の理
運命の定
神の御心
佛の教え
儒の道徳
墨の兼愛
法家の法
兵家の謀
農家の勤
工家の巧
商家の信
士家の節
将家の勇
文士の才
武士の力
百姓の誠
士族の徳
貴族の威
平民の力
庶民の徳
君子の行
小人の行

Handwritten text in the top right corner of the right page, including the word "Hauptstadt" and other illegible characters.



Handwritten text in the middle right section of the right page, including the word "Hauptstadt" and other illegible characters.

Handwritten text in the bottom right corner of the right page, including the word "Hauptstadt" and other illegible characters.



Handwritten text in the middle left section of the left page, including the word "Hauptstadt" and other illegible characters.

Handwritten text in the bottom left section of the left page, including the word "Hauptstadt" and other illegible characters.

Handwritten text in a cursive script, likely a historical record or narrative. The text is arranged in vertical columns, reading from right to left. It contains several lines of dense characters.

Handwritten text in a cursive script, continuing the narrative or record. It includes several lines of text with some larger characters interspersed.

Handwritten text in a cursive script, concluding the section on this page. It features several lines of text and some larger characters.

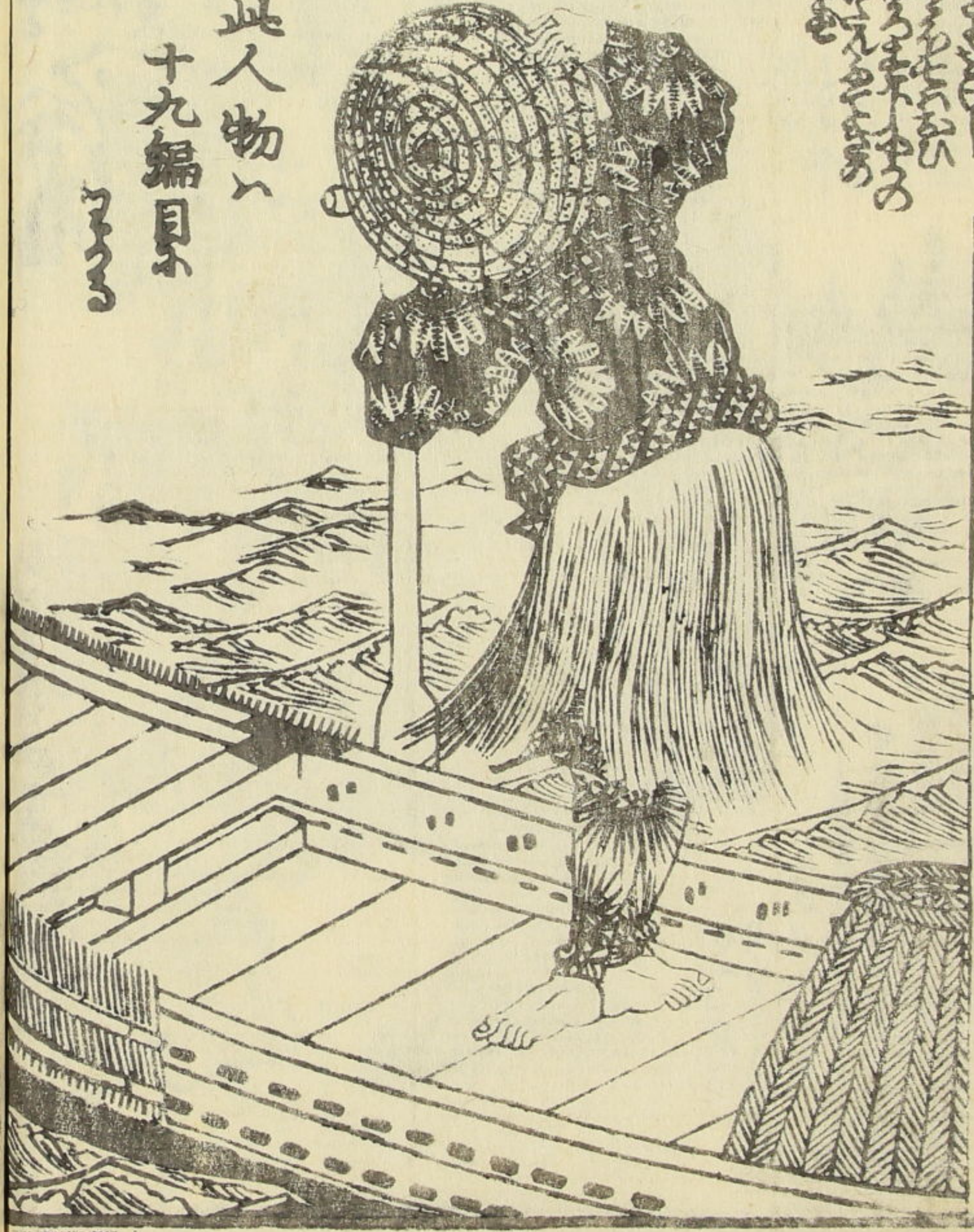


Vertical text on the left side of the page, possibly a title or a section header. It includes characters like '山' (mountain) and '上' (top).

Handwritten text at the bottom of the page, below the illustration. It includes several lines of text and some larger characters.

種員作國輝画

此人物ハ
十九編目ノ
...



假名一休草紙

柳下亭種員作
一雄齋國輝画

三編より五編まで
...

芝神明茶 甘泉堂 和泉屋市兵衛板



國輝画

表題曲五國虫

下



此の人の名雷也の権は...
 月影... 権の... 津...

児雷也

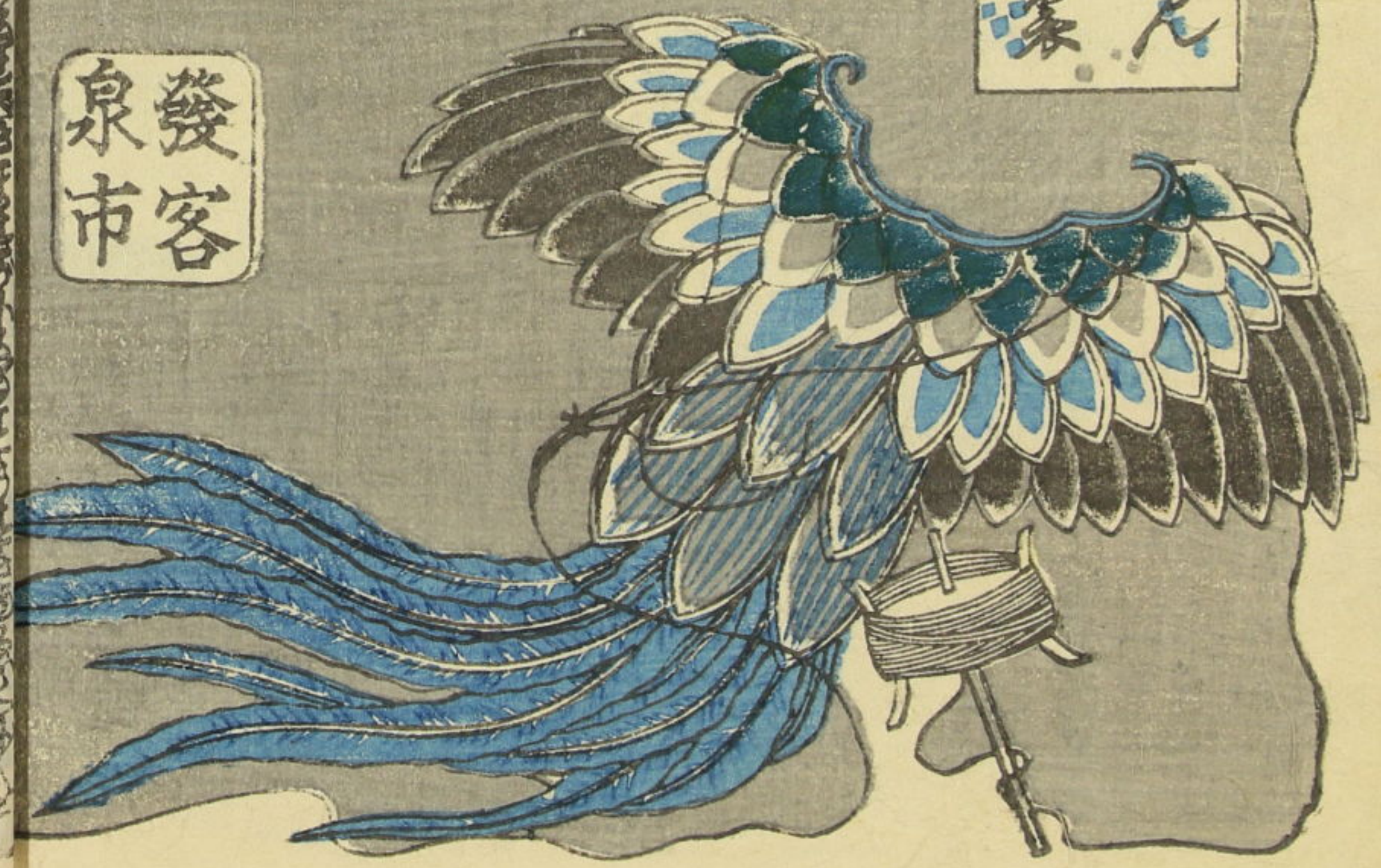
真傑輝

第十八編

下冊

折下亭作
一権齋画

發客
泉市



此の人の名雷也の権は...
 月影... 権の... 津...
 此の人の名雷也の権は...
 月影... 権の... 津...
 此の人の名雷也の権は...
 月影... 権の... 津...





Handwritten text in the upper left corner, including the characters '山' (mountain) and '川' (river).

Handwritten text in the upper middle section, including the characters '山' (mountain) and '川' (river).

Handwritten text in the upper right section, including the characters '山' (mountain) and '川' (river).

Handwritten text in the upper right corner, including the characters '山' (mountain) and '川' (river).

Handwritten text in the middle left section, including the characters '山' (mountain) and '川' (river).

Handwritten text in the middle middle section, including the characters '山' (mountain) and '川' (river).

Handwritten text in the middle right section, including the characters '山' (mountain) and '川' (river).

Handwritten text in the middle right corner, including the characters '山' (mountain) and '川' (river).

Handwritten text in the lower left section, including the characters '山' (mountain) and '川' (river).

Handwritten text in the lower middle section, including the characters '山' (mountain) and '川' (river).

Handwritten text in the lower right section, including the characters '山' (mountain) and '川' (river).

Handwritten text in the lower right corner, including the characters '山' (mountain) and '川' (river).



Handwritten text in the upper left corner of the page, including the characters '石' (stone) and '石' (stone).

Handwritten text in the middle left section, including the characters '石' (stone) and '石' (stone).

Handwritten text in the lower left section, including the characters '石' (stone) and '石' (stone).



Handwritten text in the upper right corner of the page, including the characters '石' (stone) and '石' (stone).

Handwritten text in the middle right section, including the characters '石' (stone) and '石' (stone).

Handwritten text in the lower right section, including the characters '石' (stone) and '石' (stone).

Handwritten text in a cursive script, likely a historical or literary record, located at the top of the right page.



Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the right page, below the illustration.

Handwritten text in a cursive script, located at the top of the left page.



Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the left page, below the illustration.

Vertical text on the left margin of the left page, possibly a page number or reference.

Vertical text on the left margin of the left page, possibly a page number or reference.

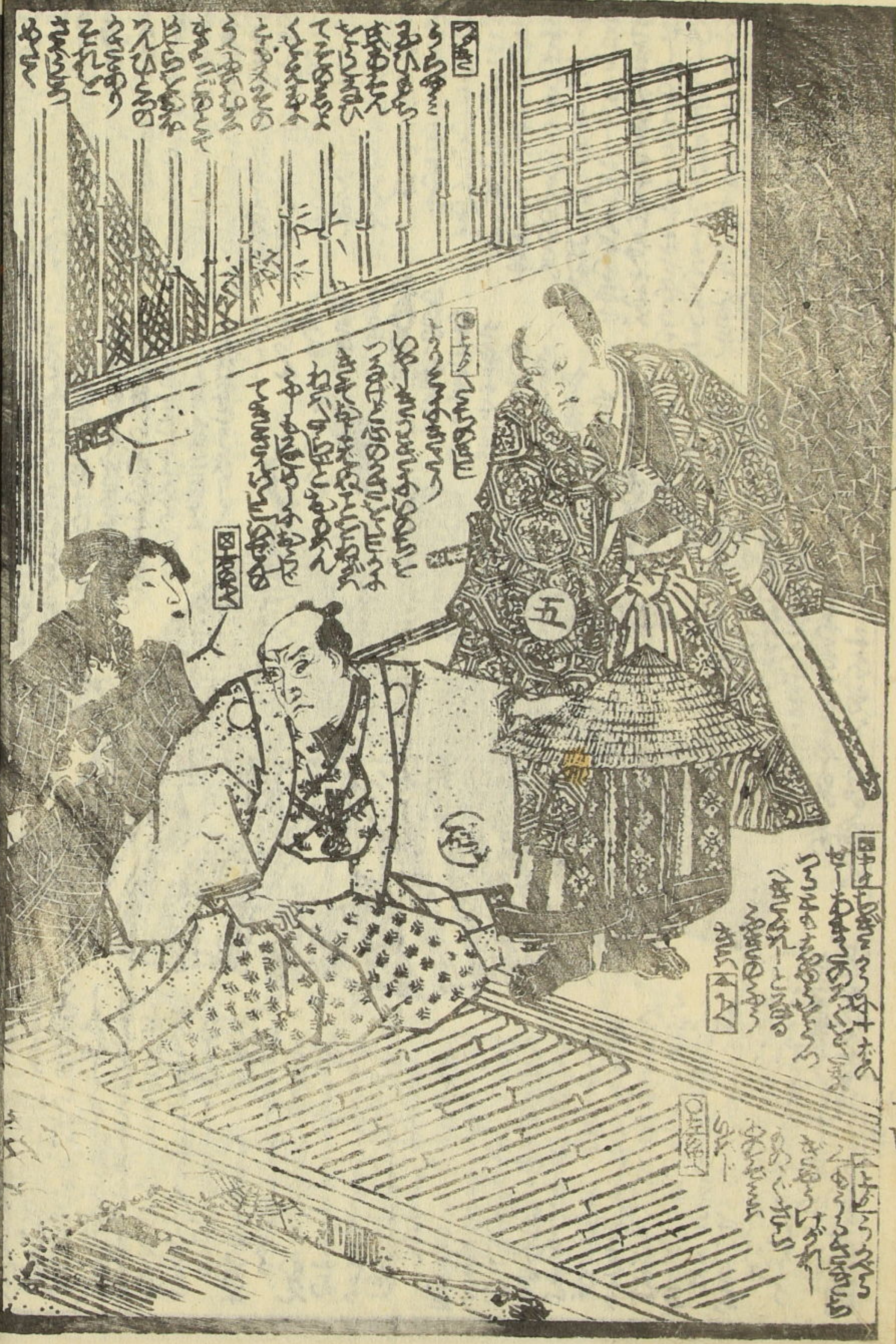


Handwritten text in a non-Latin script, possibly a title or chapter heading, located on the left margin of the page.

供待
後者寺
景
幸
体

Handwritten text in a non-Latin script, likely a commentary or description, located in the lower-left area of the illustration.

Handwritten text in a non-Latin script, likely a commentary or description, located in the lower-right area of the illustration.



Handwritten text in a non-Latin script, likely a title or chapter heading, located at the top of the page.

Handwritten text in a non-Latin script, likely a commentary or description, located in the upper-middle area of the illustration.

Handwritten text in a non-Latin script, likely a commentary or description, located in the lower-right area of the illustration.

Handwritten text in a non-Latin script, likely a commentary or description, located in the bottom-right corner of the illustration.

Handwritten text in a cursive script, likely a diary or travelogue, located at the top of the right page.

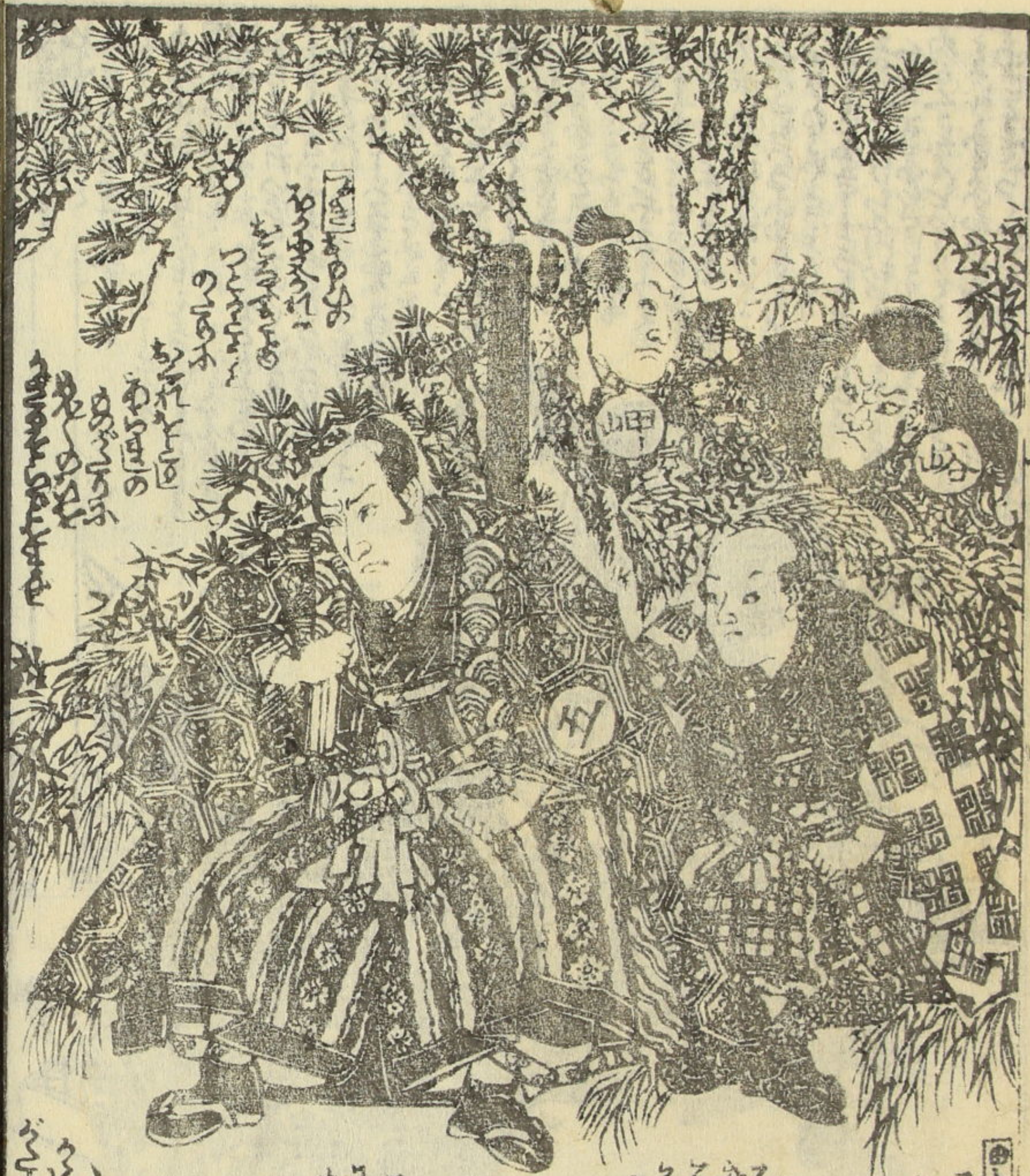


Handwritten text in a cursive script, located below the illustration of the man on the right page.

Handwritten text in a cursive script, located at the top of the left page.



Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the left page.



Handwritten text in a cursive style, likely a commentary or a list of names related to the illustration above.

Handwritten text in a cursive style, positioned at the top of the page above the illustration.



Handwritten text in a cursive style, positioned at the bottom of the page below the illustration.

Handwritten text in the upper left quadrant of the left page, written in vertical columns. The text is dense and appears to be a transcription or commentary related to the scene below.



Handwritten text in the lower left quadrant of the left page, positioned below the illustration. The text continues the vertical writing style seen in the upper section.



Handwritten text in the lower right quadrant of the right page, written in vertical columns. This text likely provides further context or commentary for the illustration above.

Handwritten text in the upper right quadrant of the right page, positioned above the main illustration. The text is written in vertical columns.



月夜の月夜...
...
...

五
五

あはれ...
...
...



...
...
...

禁 玉壺生肌膏
一頁 卅六枚
金膏 即愈 奇功紙
一枚 卅六枚
製法所 玉樓
真乳 東野下
取次所 柳下亭

...
...
...

嘉永六年癸丑孟既發市標目

兒雷也豪傑譚

廿一篇 抑下亭種員作
廿二篇 一雄齋國輝画
廿三篇

たは 女房心
一雄 六
柳 下

今業平昔面影

笠亭仙果作
一猛齋芳虎画
六篇 七篇

祥瑞白菊物語

錦朝樓芳虎画
五篇 六篇

新編金瓶梅全輯

自初編 至十編 曲亭馬琴翁作
大尾 一陽齋豊國画

書肆甘泉堂之神明前 和泉屋市兵衛版

種員作



國輝画

淨書 心醉



兒書也

家傑傳

卷十八

編

柳六亭種頁作

一姓高國輝畫



自畫